

令和5年大船渡市教育委員会第12回定例会会議録

1 日 時

令和5年12月26日（火） 午後2時から午後4時まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	伊 藤 真 紀 子
学 校 教 育 課 長	佐 藤 和 生
生 涯 学 習 課 長	山 岸 健 悦 郎

5 議 事

議案第1号 令和5年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて

6 報告事項

(教育次長)

- ① 学校統合協議の進捗状況について
- ② 令和5年大船渡市議会第4回定例会について
- ③ 蛸ノ浦貝塚・下船渡貝塚国史跡指定90周年関連事業 令和5年度文化財めぐりの実施結果について
- ④ 令和5年度大船渡市立博物館教育普及事業 博物館講座の実施結果について
- ⑤ 「盛町五年祭」の岩手県無形民俗文化財への指定等について

(学校教育課長)

- ① 第5回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 令和5年度市内小・中学校の冬休み期間について

(生涯学習課長)

- ① 令和5年度家庭教育学級開催事業（英語スクール）「第2回英語体験教室」の実施状況について

7 会議の概要

(教育長)

- ・令和5年大船渡市教育委員会第12回定例会の開会を宣言する。
- ・令和5年第11回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の統合推進協議会で、校名や校章、校歌等、具体的な協議がなされて、令和7年4月の統合に向けて順調に進んでいるようだ。

(教育次長)

- ・校歌の作詞、作曲に係る経費等は来年度予算での対応となるため、年度内に決めることができない部分もあるが、今年度の推進協議会委員で決定できるところは決め、進めていきたい。

(教育長)

- ・統合推進協議会は4回実施した。両地区の議員からは通学路の点検等について、市長と教育長に対し、要望書が提出される予定である。校長からも様々な意見が出されている。

(委員)

- ・統合については報道もされており、安心している市民も多いのではないかと。統合する学校の生徒の交流は、来年度から始まるのか。

(学校教育課長)

- ・生徒の交流については、両校間で具体的に進めている。児童の交流については、大船渡小学校、大船渡北小学校、末崎小学校の3小学校で今後、協議を進める予定である。教育委員会としても来年度に向けて各学校と調整を図っていく。

(委員)

- ・シビックプライドの醸成について、各小中学校では運動会や文化祭、総合的な学習の時間に郷土芸能を披露するなど意欲的に取り組んでおり、子どもたちは地域住民と交流しながら、それらを継承することなどの大切さを学んでいる。
- ・学校給食法の規定に基づき、食材費は保護者負担としているが、交付金を活用し、物価高騰に伴う負担が増えないように給食費を据え置いている。多子世帯の学校給食費無償化については、国の子ども子育て政策の動向を注視していくということだが、財政状況から適切な対応である。

(学校教育課長)

- ・シビックプライドについて、学校教育の目標のひとつに郷土愛があり、各学校で郷土芸能や総合的な学習の時間等を通しての地域の理解が進んでいる。
- ・学校給食費は、児童生徒数の約4分の1が就学援助費を受給しており、経済的支援が必要な児童生徒の世帯では実質無償化となっている。

(委員)

- ・市の教育分野において良いところが出ているのは、縄文文化の発信と英語教育だと思う。これまでの縄文文化に関するイベントは参加者に好評であり、成功している。今回は、化石のクリーニングという新しい試みで、体験したことは記憶に残りやすい。体験イベントは、場所により参加人数が制限されることもあるが、回数を増やす等の工夫をして今後も継続してほしい。小中学生を対象とした文化財めぐりの実施を希望する意見も出ており、市の文化財を知ってもらう方法として検討してほしい。英語体験講座は、毎回定員を超える申込があるなど参加者が意欲的で、また、英語検定の検定料を補助することによって成績も上がっている。語学は早いうちに慣れていた方がよいことから、非常に良い取組である。学校教育だけではなく、一般市民にもICTやデジタル活用が推進されており、少し先になると思うが、市民活動と教育の分野で連携を図ることがシティプロモーションにもつながっていく。

(教育次長)

- ・これまで当市の総合計画の重点プロジェクトとして「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げていた。今般、国では、デジタル田園都市国家構想総合戦略を掲げ、デジタルの力を活用して、地方創生を加速・深化させ、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すことを目的に推進している。当市でも今年度からデジタル田園都市国家構想総合戦略に変更する方針となり、素案を協議中である。教育分野では文化財や伝統文化、教育環境の充実等をキーワードとしている。国指定の3つの縄文具塚等の情報発信を進めることで、子どもたちが郷土の誇りや愛着を持てるのではないかと考えている。博物館の講座で体験したことが、どんな調査につながっていくのか等、子どもたちにうまく伝えることができるような方法を検討する。

(生涯学習課長)

- ・英語体験講座の参加者は、小学生より就学前児とその家族が多いので、対象者などを再検討し、より活性化したものになるよう進める。また、中央公民館では、主に高齢者を対象としたスマホの使用方法などのIT講座を開催しており、市のLINEの登録者数の増化につなげるように、デジタルトランスフォーメーションにマッチしていく形で進めていきたい。

(教育長職務代理者)

- ・教職員の時間外勤務について、今年度は年360時間超の者をゼロにするという目標があり、9月末現在で、前年度累計と比較して、96名から7名に激減している。これまでの取組が大きな成果をあげているのではないかと。7名については、管理職による定期的な面談や指導など対策が必要だ。

(学校教育課長)

- ・9月時点で、時間外勤務が360時間を超えた教員がすでに7名おり、目標は未達成と

なった。月平均 45 時間以下を目標にするように校長会議で指導しており、今後も各学校の実態等について随時情報提供をしていく。

(教育長)

- ・10 月時点では、360 時間超過の教員が 22 名となり、増加している。360 時間超の者をゼロにするという目標は、達成が困難ではないかと思う反面、教職員の多忙化解消に向けて、学校が指導するためには必要である。

(教育長職務代理者)

- ・月 1 回以上の年次休暇の取得を勧奨することは、教職員にとって良い取組である。先生たちは、児童生徒に迷惑を掛けないように長期休暇にまとめて年次休暇を取得する傾向にあるが、年度末に残日数を確認し、管理職と教員で次年度に向けた新たな取組を検討することも必要ではないか。

(学校教育課長)

- ・「月 1 回以上の年次休暇を取得する」という目標は、県のアクションプランの目標値を参考に設定した。来年度からアクションプランが更新されるので、当市の実態も踏まえながら、目標値を検討する。

(委員)

- ・教育研究所運営の評価について、「学力向上研究委員会」は一定の成果が出ているようだが、開催回数を増やすことで、更に向上するのではないか。「学力検査・知能検査」「hyper-QU」の実施で、児童生徒の詳細な資料を得ることができ、調査結果の分析を行うことで、確かな学力育成プランなどに活用している学校が増えている。「外国語指導助手学校訪問」は、児童生徒の発音の向上や外国語への興味関心の高まりなど、大いに成果が上がっていると思う。「教育相談の特別支援教育相談員」では、相談員の増員の要望が出ているが、可能なのか。「ICT 支援員による学校訪問」は、デジタル教材の活用や指導方法などの幅広い支援が学校から高評価で、成果も多いに上がっている。

(学校教育課長)

- ・学力向上研究委員会の開催回数は、教員の負担も考慮して設定したが、再検討し、来年度に活かしたい。学力検査・知能検査は今後も継続して、児童生徒の学力向上に役立てていきたい。Hyper-QU は、小学校 3 年生と中学校は全学年で実施しており、中学校 2 年生のみ 2 回実施している。全学年実施することは、財政的に厳しい状況であるが今後も検討していく。Hyper-QU 以外にも「心とからだの健康観察」のアンケートも教育相談の資料の 1 つとして活用していきたい。外国語指導助手学校訪問は、英語教育の向上だけでなく、外国人に対する壁がなくなってきており、良い影響となっている。教育相談の特別支援教育相談員の増員については、特別支援教育支援員で 2 名、ICT 支援員で 1 名増員する方向で検討中である。ICT 支援員は、研修会の参加などで、スキルの向上を図っており、今後も更に効果的に活用できるよう進める。

(教育長)

- ・ロードレース大会の参加人数は何人か。

(生涯学習課長)

- ・176 チームで 1455 人である。

(教育長)

- ・中学校の出場状況はどうか。

(生涯学習課長)

- ・男子は中学校2校、女子は1校からそれぞれ複数チームが出場予定である。

(教育長職務代理者)

- ・ロードレース大会が開催されることになり、県内のランナーから喜びの声が聞こえてきている。

(生涯学習課長)

- ・昨年度、4年振りに開催され、コロナ禍前にはなかなか戻らないが、継続していくことが大事であると思う。新年最初の大会であり、地域の強みを活かして、冬でも走れるというPRにもなり、今後も参加者が増えるように取り組んでいく。

(教育長)

- ・追加報告を求める。追加報告は、資料が部外秘なので、非公開の事案として秘密会にしたいと思うが、よろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、秘密会とする。
一般傍聴人は退席を願う。

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第1号について説明を求める。

(教育次長)

- ・議案第1号 令和5年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。
- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和5年大船渡市教育委員会第12回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員